

5. 浸水被害データベースの作成

浸水調査や被害調査の結果を体系的に整理・保存するため、花月川、白川、山国川、菊池川水系岩野川、合志川、迫間川の6河川を対象にGIS（地理情報システム Geographic Information System）を使用した浸水被害データベースを作成した。

5.1 浸水被害図の作成

データベースの作成にあたっては、浸水被害図を基盤情報とした。

調査により得られた浸水範囲と床上・床下浸水家屋に関するデータをDMデータ上に重ね、データベースの基盤となる浸水被害図を作成した（図-5.1.1～5.1.3 参照）。

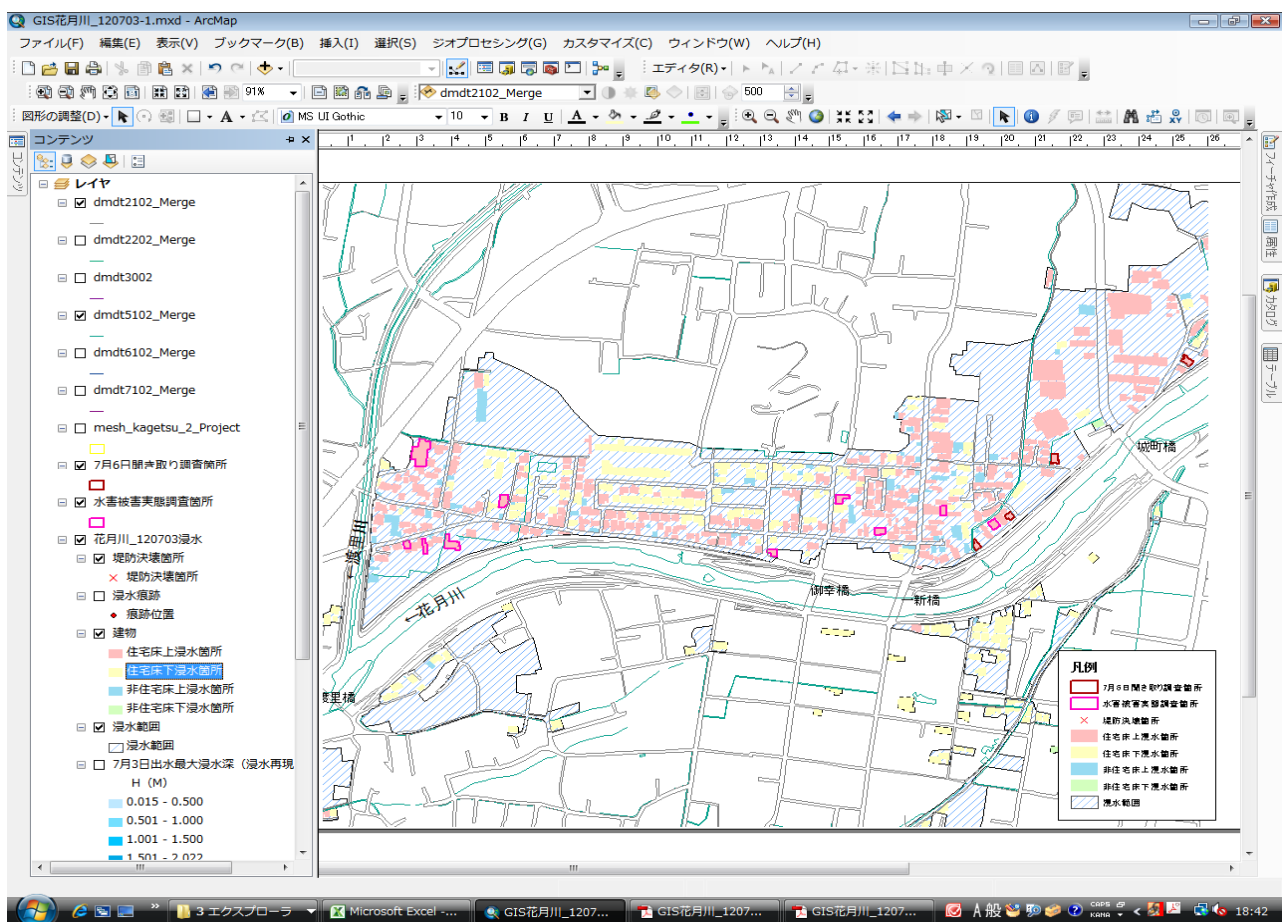


図-5.1.1 花月川における浸水被害図

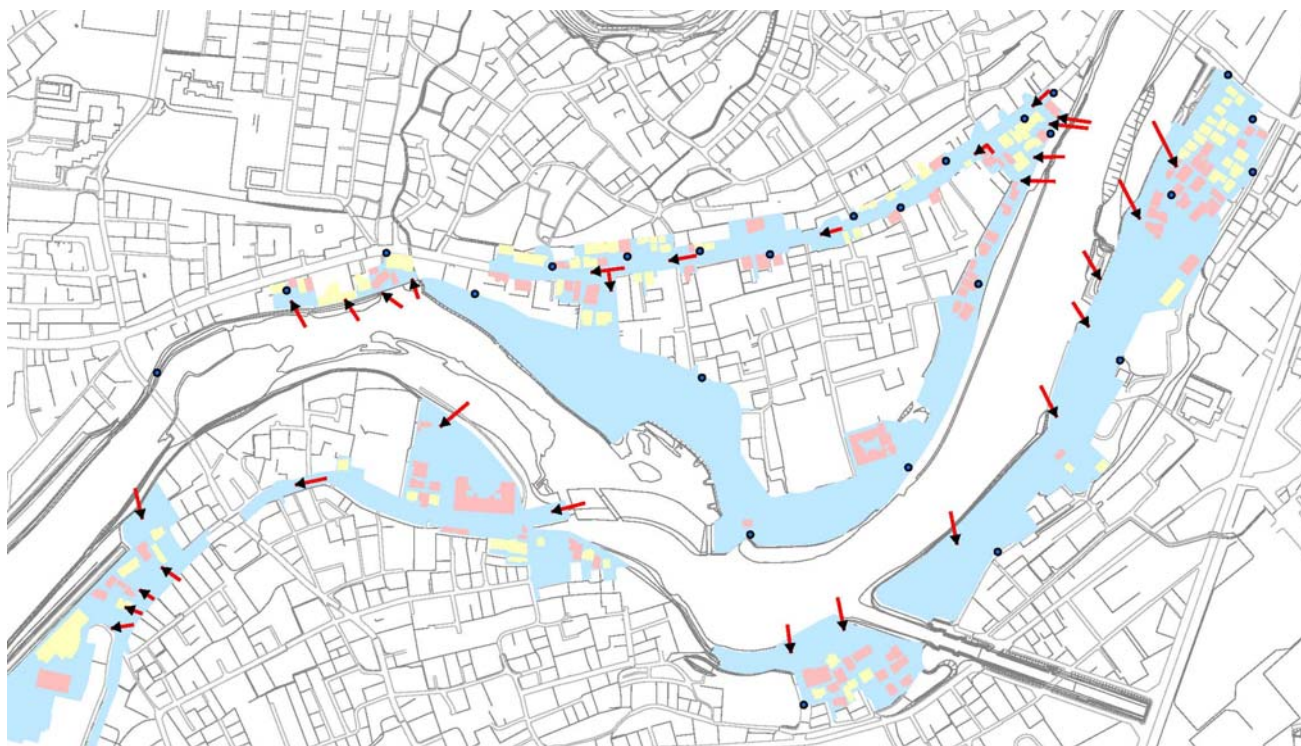


図-5.1.2 7月12日の豪雨 白川における浸水被害データベース

菊池川48.0～50.0k付近 浸水実績図

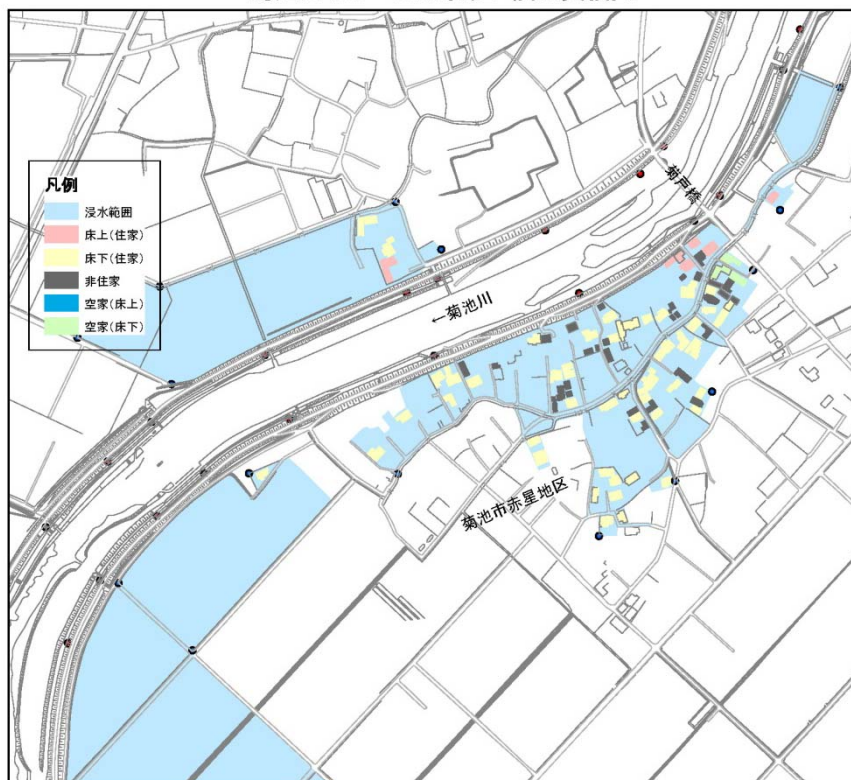


図-5.1.3 7月12日の豪雨 菊池川における浸水被害データベース

5.2 浸水調査結果の保存

3.1 および 3.2 で実施された浸水調査結果、痕跡高については GIS 上の属性情報に記述し、写真については GIS 上の撮影箇所と対応づけた（図-5.2.1 参照）。

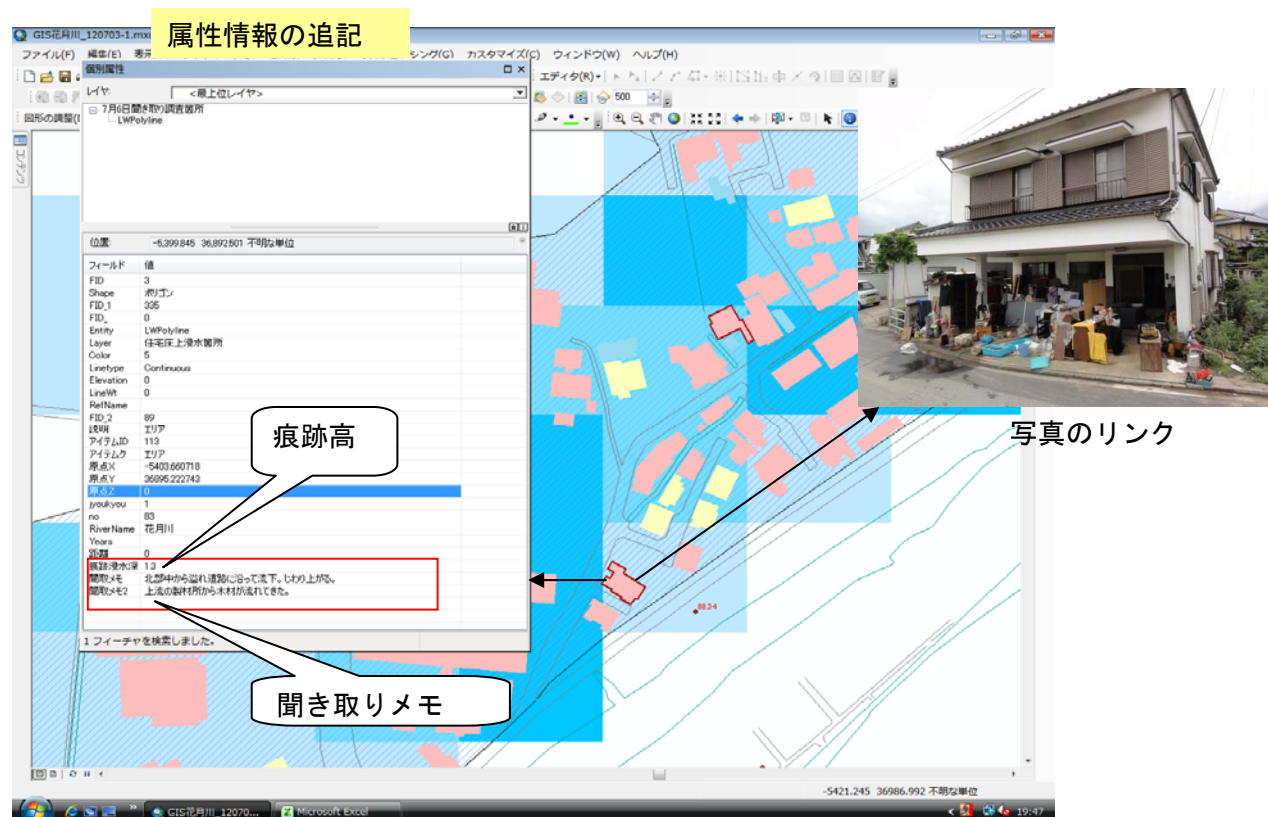


図-5.2.1 聞き取りメモと痕跡高に関する情報の追加と写真のリンク

5.3 家屋等被害に関する調査結果の保存

表-4.2.3～20 に整理した、家屋等被害に関する調査結果に位置情報を加え、地図と関連づけを行った（図-5.3.1, 5.3.2 参照）。

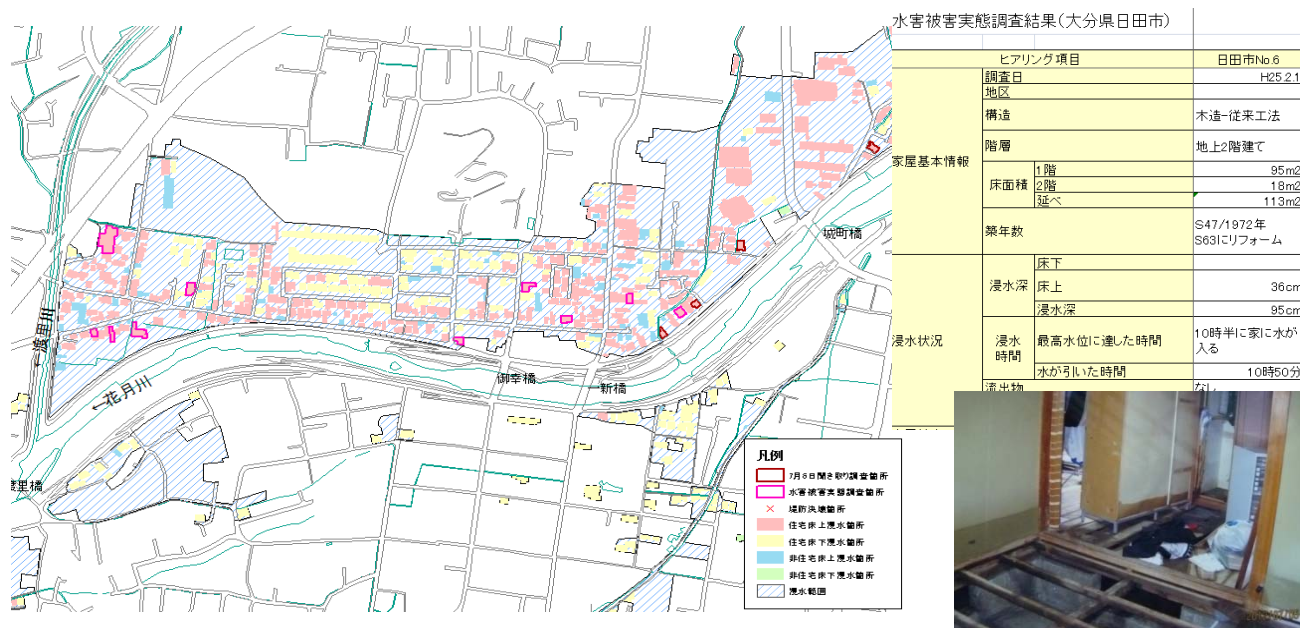


図-5.3.1 花月川 家屋等被害に関する調査結果表と写真のリンク

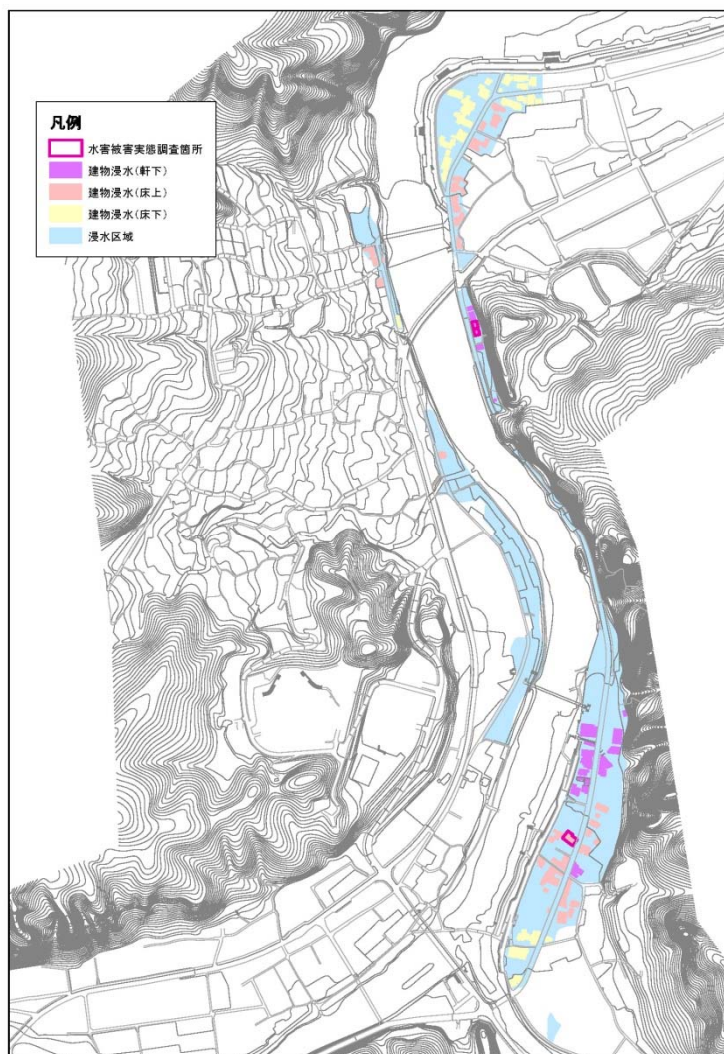


図-5.3.2 山国川 家屋等被害に関する調査結果のリンク

5.4 今後の課題

今回データベースを作成するに当たっては、各事務所で行った調査結果が CAD データで作成されていたため、GIS への変換等の作業が必要となった。今後は、浸水調査結果の保存様式を定めることにより、各主体で実施される調査結果について効率的蓄積を図ることが望ましい。